

請 願 文 書 表

(環境政策局)

受理番号	1134	受理年月日	令和4年9月28日
件名	北陸新幹線延伸による地下水等への影響の独自調査の実施等		
要旨	<p>京都市の水は、京都の歴史と文化、産業を支え続けてきた京都の宝である。鴨川などの河川は私たちの生活と環境に分ち難く結び付いている。京都の谷水はいくつかの地域で飲料水に使われ、地下水は京都の暮らしと文化、環境、産業の土台となっている。</p> <p>今、北陸新幹線京都延伸計画が京都市民の中でも大きな関心となっている。市内の中心部を直径13メートル以上の巨大地下トンネルで貫く工事は、京都の水に大きな影響を与えるのではないかという危惧が広がっている。この計画の環境影響評価（方法書）で京都市は、北陸新幹線（敦賀・新大阪間）環境影響評価方法書に対する環境の保全の見地からの意見の冒頭で、路線や駅が明らかにされていないので、それらが具体化した段階で、必要に応じて評価方法の見直しを行うとともに、広く情報提供し、適切な調査、予測及び評価を行うことと述べたが、現在明らかにされている幅広い予定ルートにおいても、京都にとって危惧される問題が明らかになっている。</p> <p>この課題に対する鉄道運輸機構の対応は非常に不十分である。鉄道運輸機構は、方法書の中で地下水への影響については知見を持っていないと述べ、今後、専門家の助言を得て環境アセスメントを進めるというだけである。全く頼りない態度で、アセスメント調査への過剰な期待を持つことはできない。</p> <p>地下水の現状把握には時間を掛けた徹底した調査が必要だが、2023年度着工を強行に目指そうという与党プロジェクトチームの動きを見ると、危惧の念が広がる。与党プロジェクトチームの会長が、環境アセスメントの途中でも一部着工ができないかなどというとんでもない発言をしたことが報道された。こうした発言は、環境影響評価法とそれに基づく京都市環境影響審議会の議論や存在意義さえも否定するもので、決して許されるものではなく、抗議すべきものである。</p> <p>トンネルは水を嫌うと言われている。工事中のトンネルでの大量の湧水、建設後の水圧・浮力によるトンネルへの構造的影響を避けるため、水抜きトンネル、その他が実施され、結果、トンネル周辺の水がかれる事態がしばしば起こっている。この影響は、上を流れる河川にも現れる。静岡県でリニア新幹線工事による大井川の水量減少が大問題になっているのはよく知られるところである。北陸新幹線京都延伸により同様の問題が発生する危険性がある。それによる環境影響は、ある限られた地域ではなく、美山から京北、京都市中心部、京都駅を通過して南部の松井山手まで、長大なトンネルを中心に京都を南北に貫く環境破壊となる危険性がある。鴨川など河川の流量の減少、地下水の汚染や枯渇、乾燥化による森林の枯死などが起こってからは取返しが付かない。</p> <p>こうした地下の大型工事を伴う計画が存在している中で、京都市がこの問題に対して、事業者の環境影響評価任せにするのではなく、今から真剣にしっかりと情報収集や可能な独自調査、専門家による検討を行うことが求められている。北陸新幹線京都延伸計画に関する環境アセスメント調査は、事業者である鉄道運輸機構が実施していることは認識しているが、上記の理由から、京都市が可能な独自調査と検討を真剣に行うことが必要ではないか。</p> <p>以下、お金を掛けずにできるものを例示する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 現在、明らかになっている京都市の地質と地下水のデータを専門家の協力も得て収集する。</li> <li>2 地下鉄東西線建設による地下水（井戸）への影響に関するデータを明らかにして専門家による検討を行う。</li> <li>3 京都市内でこれまで行われたトンネル工事により引き起こされた井戸の枯渇や水位の低下、地盤沈下など事例を収集して明らかにする。</li> <li>4 これまで行われた京北、北区、左京区、右京区、南区、下京区でのボーリング調査のデータの提供を機構に求める。この中で、地質と地下水のデータを検討する。</li> <li>5 地下40メートル以深で建設されることとなっている京都駅周辺で発生した井戸の水がれなどのデータを収集し明らかにする。</li> <li>6 京都市環境審議会を構成する専門家関係者の議論の場を作り、調査が求められる内容や方法を整理し鉄道運輸機構に求める。これらの内容を市民に公表する。</li> </ol> <p>については、京都の水（河川、地下水、飲料水）を守るため、影響を与える計画については、環境アセスメントの結果を待つのではなく、京都市による独自の調査と検討を行うことを願う。</p>		
請願者			
紹介議員	やまね智史、井坂 博文、森田ゆみ子、西野さち子、赤阪 仁		
付託委員会	文化環境委員会		